

【入賞】
No.24 「SUKETTO」
太田美桜

受賞コメント

今回は応募した作品に対する対価、またこのような賞をいただき、大変嬉しく思っています。またプレゼンテーションを通じて他の方達のレベルの高い作品を見て、刺激を受けました。審査員の方から頂いたアドバイスや感想なども今後のものづくりに活かしてしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



評価コメント

日常のボランティア活動の団体を非日常の災害時に直ちに転換して支援活動にあたるようにする体制の提案で、やり方を工夫することによって現実的な提案になると考えられた。（佐藤）

被災者・行政・ボランティアをつなぐ情報ネットワークの必要性は高いが、災害時に遠方から訪れるボランティアをどのようにつなぐのか。地域のボランティアと来訪するボランティアの情報ネットワークが課題では。（相良）

着眼点は良い。特に「日常的なボランティア活動が育まれていて、非常時にはその人達が災害時対応で活動する」というのは、ある地域におけるビジョンとして理想的な姿と思う。しかし、アプリがあればそれだけで、そうした社会は実現できるのだろうか？どんなアプリにするか、というテーマの脇には、そのアプリを使って地域のボランティアネットワークを醸成し運用する人材はいるのか、それは誰なのか、というテーマがセットであると感じる。その観点への踏み込みがあつてこそ、確かに活かせるアプリ、ツールを生み出す可能性につながるのでは？（平林）